

広げよう繋がり意見交換会 拡大版

垣根を取り払い意識を高め合うきっかけに



前橋市柔道整復師会は6月、県柔道整復師会事務所で「広げよう繋がり(勉強会・意見交換会)拡大版」を開催した。前橋だけでなく、高崎、伊勢崎からも参加。地区の垣根を取りはらい、お互いの意識を高め合った。

特別講演

選手のコンディショニング 施術後も確認を徹底 トレーナーとして帯同 サッカー部の全国優勝に貢献

試合中の多様なケガ 体調管理も含め対応

冬の全国高校サッカー選手権で前橋育英高校が2度目の全国優勝に輝いたのは記憶に新しい。そのサッカー部にトレーナーとして帯同して選手のサポートにあたったのは当会の梅山貴史会員。講演では、その体験を柔道整復師の視点から披露した。

トレーナーとして大切なのは、やはり体のケアだ。帯同期間中は毎日およそ10～20人ほどの選手を1人あたり30分ほど費やし施術していたという。プレイヤー同士のコンタクトが激しいスポーツだけにケガの種類も打撲、捻挫などが多数を占める。また持久力も要するため、筋疲労を訴える選手も多かったようだ。



そこで梅山会員はハンディエコーを使用して患部を観察し、テーピング・アイシングを施すなどして対応。今後に活かすため、処置方法等をデータとして記録したという。

また、選手の体調管理においても気を配り、特に水分量には注意を促した。体重が3～4%減少することで筋力も数%低下してしまうため、3%以上減少しないように記録・確認を徹底したとのことだ。



映像を解析 試合前の動機アップに

競技をする上で、心のケアも求められる。育英高校サッカー部では過去の試合や自分達の良いプレー、先輩達からのメッセージを動画として蓄積。それらを編集して試合前に視聴することで、選手間の意思統一やモチベーションアップに繋げている。また、過去の試合を映像解析することで対戦相手の研究やチーム戦略にも活かしており、組織運営にも

エコー観察

プローブ操作 損傷の有無を測る手立て 超音波観察・足関節から足部



意見交換会の第一部は「エコー(超音波)観察・足関節～足部」。古平和典副会長が講師となり超音波観察装置(以下、エコー)の操作方法を解説した。

エコーでポイントとなるのがプローブの操作だ。古平会員は効果的なプローブの当て方を披露。前距腓靭帯損傷・第5基節骨骨折を重点に、損傷の有無を確認する有効な手順を示した。



通じる内容となった。

梅山会員は「会員を含めた広い繋がりに役立てれば幸いです」として、意見交換会の重要性を示唆。継続することで、お互いの意識を高め合うきっかけともなるだろう。

報告 岩田直樹

会の可能性を広げる

挨拶に立った樋口弘紀会長は「勉強会を通じて会の可能性を広げ、入会して良かったと思えるようになって欲しい」と趣旨を語った。今後も開催を続け、横のつながりを前橋だけでなく、県全体に広めていきたいとのことだ。



柔道の魅力とは？ 競技継続を後押し 学生競技者の意識 変化のきっかけに

POINT

7月の2日間、高崎アリーナで「DO JUDO! FESTA 2025 in 群馬」が開催された。全日本柔道連盟が主催するこのイベントに、県内の中・高校生250人余りが参加し、トップ選手による実技指導などを受けた。本会から田島隆行・清水一彦両会員が救護係として従事し、参加者の安全を見守った。

柔道は世界に誇る日本の武道であるが、競技人口の減少が叫ばれて久しい。年代が変わるタイミングで柔道から離れる場合が多くみられ、地方においては喫緊の課題となっている。

この傾向は、柔道場の減少などを含めた環境や機会の少なさが一因ではないだろうか。そこで継続的に柔道に取り組むための動機付けや、部活動の枠を超えた柔道の魅力を伝えるための取り組みとして発案されたのがこの「DO JUDO! FESTA」だ。

柔道は生涯にわたって楽しむことができるスポーツである。このように捉え直

して、社会貢献活動を通じた柔道コミュニティとしての側面にも注目し、参加者が柔道を続ける意義や可能性を再認識できるような機会を提供する。

参加者はただ実技指導を受けるだけではない。トップ選手と昼食を共にしたり質疑するなど、お互いコミュニケーションを図り親交を深めることで、学生競技者の意識変化のきっかけにもなるようだ。

今回、柔道連盟からの要請で救護係として参加。幸いケガ人は出なかったが、柔道に携わってきた者として、活動を後押ししていきたい。（報告 清水一彦）

柔道



研修

高崎地区

地域のニーズに沿った新たな役割 市民の健康管理 活発な意見飛び交う

高崎市柔道整復師会は7月、高崎市保健医療部健康課と合同研修会を開催した。当会からは会長を含め13名が参加。地域ニーズに沿った新たな健康管理のあり方や、柔道整復師の役割などについて意見を交わした。

当会が高崎市から市民の健康維持・向上に向けた体操指導を依頼されている。今回の研修会では、市民をさらに健康にするには何をすれば良いか、市の職員と活発な議論を展開。特に、健康管理に関しては、それぞれ

の意見が交錯する場面もあり、市民の健康に対する関心の高さが伺えた。

（報告 櫻井保男）

9月 休日当番

7日(日)

前橋	ボブラ接骨院	027-289-9701
伊勢崎佐波	三輝接骨院	0270-63-5568
桐生みどり	いけた整骨院	0277-43-5233
	高橋接骨院	0277-52-0846
太田	正木接骨院	0276-56-2397
高崎	下田接骨院	027-371-6287
	さまた接骨院	027-372-2178
	やまな整骨院	027-347-6000
富岡	涌永接骨院	0274-62-1059

14日(日)

前橋	野口接骨院	027-252-5918
伊勢崎佐波	おのづか接骨院	0270-23-1139
桐生みどり	すわ接骨院	0277-46-0901
	赤井接骨院	0277-51-5626
太田	なみき接骨鍼灸院	0276-52-8588
高崎	林接骨院	027-371-3708
	櫻井並横接骨院	027-322-6658
	たちばな鍼灸接骨院	027-393-6810
富岡	秋山接骨院	0274-63-6139

15日(月)

前橋	アルパカ整骨院	070-4070-1980
伊勢崎佐波	永井接骨院	0270-63-4788
桐生みどり	澤接骨院	0277-53-9966
	深澤接骨院	0277-46-2929
太田	おいけ接骨院	0277-47-7077
高崎	萩原接骨院	027-323-8020
	だいじゅ接骨院	027-388-1543
	ひらい接骨院	080-1135-5074
富岡	矢島接骨院	0274-63-6840

21日(日)

前橋	岡本接骨院	027-224-7873
伊勢崎佐波	穂積鍼灸接骨院	0270-75-4466
桐生みどり	藤倉接骨院	0277-43-5374
	のざわ接骨院	0277-46-8915
太田	さいとう接骨院	0277-56-8500
高崎	川浦接骨院	090-8058-5360
	観音塚牛込接骨院	027-325-5941
	岡田鍼灸接骨院	027-370-2727
富岡	阿久津接骨院	0274-64-2701

23日(火)

前橋	松岡接骨院	027-231-1683
伊勢崎佐波	倉林接骨院	0270-32-8212
桐生みどり	武井接骨院	0277-77-1156
	ひろさわ接骨院	0277-46-6633
太田	増尾接骨院	0276-48-7252
高崎	鈴木接骨院	027-373-0108
	こじま接骨院	027-363-8668
	わこう接骨院	027-321-8872
富岡	伊藤接骨院	0274-63-2354

28日(日)

前橋	たつみ接骨院	027-251-3320
伊勢崎佐波	のぶ接骨院	0270-61-8283
桐生みどり	中村接骨院	0277-32-1878
	みのる接骨院	0277-55-1511
太田	小林接骨院	0276-31-4871
高崎	向井接骨院	027-373-4545
	ほりこし整骨院	027-384-8283
	まつばら接骨院	027-384-4793
富岡	白十字接骨院	0274-67-7564

<http://www.sekkotuin.or.jp/kyujitu/index.html>

検索

休日当番は変更となる場合があります。
詳しくは当会ウェブサイトにて、
ご確認をお願い致します。



左の2次元コードからも
アクセスできます。

